



内閣府

記者発表資料
発表後の取扱自由

平成31年1月24日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

首里城公園（御内原^{おうちばら}エリア等）開園記念式典の開催について

平成31年1月27日(日)に「首里城公園(御内原エリア等)開園記念式典」を開催しますのでお知らせします。

《 開園記念式典 》

- 日 時：平成31年1月27日(日) 14時～ (受付 13時30分～)
- 場 所：首里城公園 ^{くしのうな}後之御庭
- 式 典：詳細については、別紙1「開園記念式典の概要」をご参照下さい。
- 取 材：可 (但し、別紙2「取材申込書」に必要事項を記入し、1月25日(金) 17時までにFAXによりお申し込み下さい。なお、別添「取材の留意事項」についてもご確認下さい。)

※新規開園エリアの詳細は、別紙3「首里城公園(御内原エリア等)について」をご参照下さい。

※新規開園は、平成31年2月1日(金)からとなりますが、開園を記念して、平成31年1月28日(月)～31日(木)までの4日間、新規開園エリアの有料区域を無料開放します。

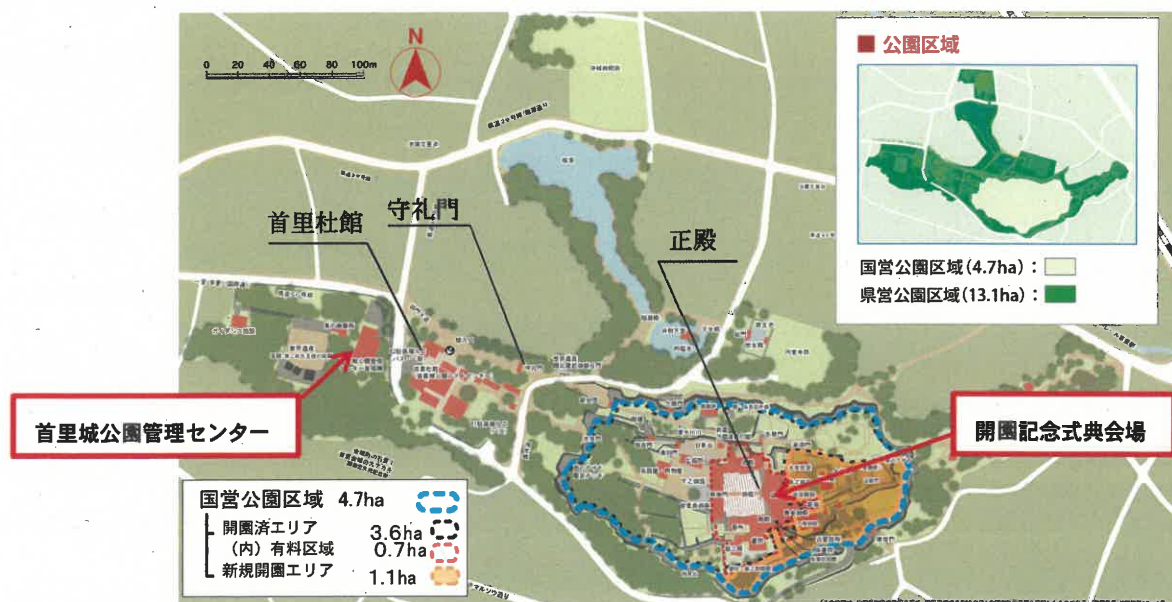
【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所
総務課長 佐和田 俊 (内線211)、総務係長 島田 ちあき (内線212)
電 話：0980-48-3140 (代表)

開園記念式典の概要

- 日 時：平成31年1月27日（日） 14時～（受付 13時30分～）
 - 場 所：首里城公園 後之御庭
 - 主 催：沖縄総合事務局
共 催：沖縄県
後 援：那覇市、沖縄県市長会、沖縄県町村会、一般財団法人沖縄美ら島財団
 - 式次第（予定）
 - 13時30分 受付開始
 - 14時00分 開式
～ 挨拶、来賓祝辞、工事経過報告、テープカット・くす玉開披等～
 - 15時頃 閉会
- ※天候等により予定を変更する場合があります。

<位置図>



(FAX番号) 0980-48-3793

沖縄総合事務局

国営沖縄記念公園事務所 総務課 御中

取材申込書

首里城公園(御内原エリア等)開園記念式典の取材を申し込みます。

| | |
|---------|--|
| 会社名 | |
| 記者名 | |
| | |
| | |
| | |
| 搬入機材等 | |
| 連絡先電話番号 | |

※参加する方全員のお名前を「記者名」欄にご記入下さい。

※別添「取材等の留意事項について」をご確認下さい。

(別 添)

取材等の留意事項について

1. 当日の集合時間及び集合場所

- ・集合時間：13時15分
- ・集合場所：首里城公園管理センター
(電話：098-886-2020)

※報道機関専用の駐車場は確保していませんので、一般来園者用の駐車場（有料）をご利用下さい。

※集合場所から式典会場へは、係員がご案内しますので指示に従って下さい。

2. 取材活動の際の注意事項

- ・式典の進行状況により撮影場所（位置）を制限させていただく場合がありますのでご了承下さい。
- ・当日は、腕章を配布しますので報道関係者は全員腕章の着用をお願いします。なお、腕章は、取材終了後に係員まで返却して下さい。

首里城公園(御内原エリア等)について

1. 首里城公園及び新規開園の概要

首里城公園は、昭和 61 年度に公園計画区域のうち、城郭内約4ha を沖縄復帰を記念する国の都市公園整備事業(国営沖縄記念公園首里城地区)で復元整備することが閣議決定され、国が事業に着手しました。平成 4 年に正殿等を含む区域を一部開園し、この度、新たに御内原(おうちばら)エリア、東(あがり)のアザナエリア、南城郭エリア、継世門・美福門エリア、書院・二階殿(にかいでん)エリア(一部既に開園済み)から構成される公園東部の面積約 1.1haの区域を開園する予定です。

現在、首里城公園は、年間約280万人が訪れる沖縄観光の重要な拠点であり、今回の新規開園により、更なる沖縄観光への貢献につとめてまいります。

位置: 沖縄県那覇市首里当蔵町

首里城公園の概要図



新規開園エリアの概要図



平成30年10月撮影

2. 主な新規開園エリア

①御内原(おうちばら)エリア

本エリアは、「御内原(おうちばら)」と呼ばれる正殿の裏側に当たる一帯であり、国王・王族やそれらに仕える多くの女官たちが生活する私的な空間として活用されていた場所です。平常は王女の居室として使われ、国王が死去した際に世子の即位の儀式を行う場所である世誇殿(よほこりでん)や、式典の場所である後之御庭(くしのうな)等があります。



世誇殿



後之御庭

②東(あがり)のアザナエリア

本エリアは、城郭の東側に築かれた場内で最も高い物見台である東のアザナを中心とした場所であり、正殿の西に沈む美しい夕陽を楽しむことができる場所です。また、宝物を保管していた金蔵跡(かなぐらあと)や、国王が死去した際にその霊柩を安置していた寝廟殿跡(しんびょうでんあと)等があります。



正殿の西に沈む夕日 (東のアザナから那覇港方面)